

### (38) つばき類

病害虫	防除法	参考事項
すす病	(耕種的・物理的防除) 1 通気不良な多湿地にしやすいので、このような場所での栽培を避ける。	○ 通風不良な多湿部分に発生が多い。
白藻病	(耕種的・物理的防除) 1 樹勢の衰えた樹や多湿な場所に発生が多いので、肥培管理に注意し、通風を良くする。	○ 雨期に多い。多湿地では年中発病する。常緑広葉樹に広く発病する。 ○ 葉に黄褐～灰褐色のやや隆起した放射状の紋様を形成する。寄生樹種が多い。
カイガラムシ類・ツノロウムシ	(薬剤防除) <b>農業登録情報【カイガラムシ類】・【ツノロウムシ】</b> 1 マシン油乳剤(97%)によるカイガラムシ類の防除法 <hr/> <b>薬剤名</b> アタックオイル ..... エアータック乳剤 <hr/> 2 ツノロウムシには、ベニカグリーンVスプレーを散布する。	
チャドクガ	(耕種的・物理的防除) 1 群集幼虫は捕殺する。  (薬剤防除) <b>農業登録情報</b> 1 直ちに下記薬剤のいずれかを散布する。 <hr/> <b>薬剤名</b> オルトラン水和剤 ..... ジェイエース水溶剤 ..... バシレックス水和剤 ..... マブリック水和剤20	○ 皮膚に虫が触れないように注意する。 ○ 卵越冬、年2世代、幼虫は4～6月、7～9月に発生する。地表の落葉や土壌の間で蛹化、卵塊は葉裏に産み付け、黄褐色の体毛(毒毛を含む)で覆う。